



熊本市 感染症発生動向調査 速報

新型コロナウイルス(COVID-19)の情報は上記のQRコードから。

インフルエンザは先週から終息基準値に達していますが、引き続き手洗い、咳エチケットなど、感染防止に努めましょう。今週は突発性発疹と水痘が増加傾向にあります。

●突発性発疹

生まれて初めての高熱は、この病気が多いようです。お母さんからもらった免疫力が薄れてきた頃、突然の高熱と熱が下がるのと前後して、赤い発疹が出るのが特徴です。



◆どんな病気？

ヒトヘルペスウイルス6型・7型による感染症で、生後4ヶ月~1歳の乳幼児に多い病気です。2~3歳までにほとんどの子どもが感染します。感染しても症状の出ない不顕性感染が20~40%とされています。
 ・症状………38℃~40℃の高熱が2~4日続き、解熱の前後におなかや背中、腕や足、顔に赤い発疹が出ます。発熱時に軽度の咳や下痢を伴うこともあります。まれに脳炎や熱が出はじめた頃に熱性痙攣を起こすことがあります。
 ・潜伏期間…10日程度
 ・感染経路…ヒトヘルペスウイルス属は一度感染すると一生体内に残っているため、ほとんどの人がウイルスを保有していると言われています。唾液に含まれるウイルスが、赤ちゃんの口や気道から入って感染するのが 主な感染経路だと考えられていますが、よくわかっていない部分もあります。
 ・流行期……季節性はなく、一年中みられます。

◆かかったらどうすればいいの？

・特別な治療法はありませんので、対症療法が中心になります。感染力は弱いですが、発熱中は感染力があります。
 ・熱が高いときは特に、水分をしっかりとらせ脱水にならないように気をつけましょう。発疹が出たあとも高熱が続いたり、ぐったりしているときは早めに医療機関を受診しましょう。

◆予防法は？

・ほとんどの子どもが感染する病気であり、多くの場合は重い合併症もなく、予後も良いため、現在のところ、特別な予防法や予防接種はありません。

期 間		2020年 5週		2020年 6週	
		1/27~2/2		2/3~2/9 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		232	9.28	120	4.80
RSウイルス感染症		0	0.00	1	0.06
咽頭結膜熱(プール熱)		4	0.25	6	0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		38	2.38	36	2.25
感染性胃腸炎		42	2.63	30	1.88
水痘(みずぼうそう)		9	0.56	11	0.69
手足口病		12	0.75	7	0.44
伝染性紅斑(りんご病)		24	1.50	21	1.31
突発性発疹		4	0.25	12	0.75
ヘルパンギーナ		3	0.19	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		6	1.20	6	1.20
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		1	0.20	0	0.00